

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

46  
10  
28  
牛場大使  
二十月  
長官  
会談

( 部の内 号) 注意

内政事務外外備官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長  
儀(総)人電厚計  
書文会管給

電信写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

総番号(TA) 56456  
71年10月29日11時20分 米 国 主 管  
71年10月29日11時20分 本 省 発 着

外務大臣殿 中場 大使 臨時代理大使 総領事 代理

本使マナリー一長官会談

第3468号 極秘 至急

貴電米北2第2427号に関し

28日本使マナリー一長官と約30分にわたりこん談せるところその模様次のとおり(先方ケーツ等、わが方コンドウ及び英同席)。

1. 本使より、本国政府の訓令に基づき、貴長官の訪日をおん迎する。今回の訪日が貴長官にとり通貨問題等につきわが方関係閣僚と話し合うよい機会を提供することを期待する。同時にわが方としてはこの機会に貴長官が日本につきはば広い見聞の機会を持たれること、例えば、東京のみならず、関西方面にも旅行されてはいかがかと考える旨述べたところ、「マ」長官は、今回始めて訪日の機会を持つたことをよるこんでおり、この際日米間の諸問題についてはば広く話し合つて理解を深めたいと述べるとともに、目下日本側関係閣僚は国会等で極めて多岐にわたることは十分承知しており、また自分の訪日が、日本側に何らかの負担やめいわくをかけることのないようにしたいと考えてい

外務省

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

る旨付言し、特に設えん等の社交行事は最少限にしていただいで結構である。また各方面とのアポイントメントは早朝ないしや間でも全く差支えない旨述べた。

2. 滞日中の日程については、特に決っていない模様であり、関西方面旅行の可能性について、「マ」長官は、京都及びナラ訪問、その他地方の生活を知ることにはきよ味がある。そのためには、1日はアポイントメントを作らない様にしてほしいと述べた。

3. 「マ」長官は、日米両国の何れにとつても、政治、経済、社会の各分野にわたり、今後ますます関係を緊密化して行く以外の選択はあり得ず、日米間に問題はあるが、自分としてはむしろこれを関係改善の機会とすることが絶対に重要 (ABSOLUTELY ESSENTIAL) であると確信する。加えはじめ英、仏、イタリア等の政府高官が強い対米批判の言辭を述べている中で、日本は何ら米国を非難していないことは常に多としており、またサトウ総理が多大の困難にかかわらず、中国代表権問題で米国を支持してくれたことを深く感謝していると述べた。

4. 次回10カ国蔵相会議の日取り等につき「マ」長官は、今朝ゾルカ一長官に対し各国が希望するなら米国は、11月22日にローマで開催する用意ある旨を関係国に伝えるよう指示したと述べた。同時に同長官は、すでに会議は

外務省

調査長  
参企折調  
領移  
参領旅査移

ア 参地中東  
長 北東西  
米 参北北保  
中南番  
参一  
西東洋  
西東

近ア長  
参書近ア  
長 参資特  
参資特  
参政技一理  
参政技一理  
参条協規  
参条協規  
参政経科  
参政経科  
長 参道内外  
参道内外  
長 参道内外  
参道内外

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

しばしば開かれているが (SITTING TOO LONG) の成果は上つておらず、2国間の話し合いの方が MORE PROGRESSをもたらすと思う。⇒ 本EEO ほどの様にしてその見解を統⇒する気なのか、もしEEOが⇒体となつて米国と交渉したいなら、⇒人の代表を指定すべきである。また今朝の新聞によると、ジュヴァイツァ ⇒ IMF専務理事が昨日の演説で、米国の課ちより金は特に低開発国に負担となつてゐると語つた旨報じられてゐるが、これは米国と低開発国との離間策以外の何物でもない。課ちより金は原料等の無税品目やクオータ品目にはかかつておらず、低開発国の対米輸出品は課ちより金の影響をうけてゐないので、この発言は事実に反するもの。またIMF専務理事としておん当なものでないと可成りふんがいの口調で語つてゐた。

5. 最後に本使より、日本における話し合いの際、わが方よりオキナワの米軍基地の問題を持ち出せばかも知れないが、わが方の要請をよく聞いてほしいと求めたところ、「⇒」長官は自分は国務長官や特別通商代表の如く行動する気持は有さないので、その話しは大統領からも聞いており、いかなる問題についてもよろこんで話し合いたいと答えた。

(了)